

主税局長


昭和七年五月十六日

兌換銀行券發行制度ニ關スル調査

日本銀行納付金制度採用ニ關スル調査

日本銀行參與會設置ニ關スル調査

(特別金融制度調査會決定)

目次

- 一、 兌換銀行券發行制度ニ關スル件
- 二、 日本銀行納付金制度採用ニ關スル件
- 三、 日本銀行參與會設置ニ關スル件

九 五 一頁

第一 兌換銀行券發行制度ニ關スル件

- 一、兌換銀行券ノ保證發行限度ヲ十億圓ニ擴張スルコト
- 二、兌換銀行券ノ制限外發行ハ十五日ヲ超エテ仍其ノ發行ヲ繼續セントスルトキハ大藏大臣ノ許可ヲ要スルコトトシ日本銀行ハ十五日ヲ超エタル制限外發行額ニ對シ年三分ヲ下ラサル割合ヲ以テ制限外發行稅ヲ納ムルコト但シ其ノ割合ハ時々大藏大臣之ヲ定ムルコト

(理由)

一、我現行發券制度ハ所謂屈伸制限制度ニシテ我國民ハ多年其ノ運用ニ慣熟シ創始以來ノ實績ニ顧ミルニ其ノ制度ノ基本ニ於テハ我國情ニ適應セルモノアリト認ムルヲ得ベシ

然レドモ現行一億二千萬圓ノ保證發行限度ハ我經濟界ノ發展ト正貨保有高ノ現狀ニ照シテ低キニ過ギ我國產業ノ正當ナル取引ニ必要ナル數量ノ通貨ヲ圓滑ニ

供給スル上ニ不便尠カラザルヲ以テ此ノ際之ヲ適當ニ擴張スルノ要アリ
 現行一億二千萬圓ノ保證發行限度ヲ幾許ニ擴張スルヲ適當トスルヤノ點ニ就テ
 ハ正確ナル算定ヲ行フコト頗ル困難ナルモ大體從來ノ通貨發行ノ實績ニ鑑ミ且
 將來ニ於ケル通貨ノ需要量ハ自ラ増大スルコトアルベキヲ考慮スルト共ニ正貨
 保有量ノ現状ヲモ參酌シ十億圓ト定ムルヲ以テ適當ナリト認メタリ

二、我國ニ於テハ月末季末等ニ際シ決濟資金需要ノ爲一時兌換銀行券ノ増發ヲ見ル
 ヲ常トスルガ此等ノ一時的決濟資金ノ需要ニ對シテハ特ニ抑制スルノ要ナキヲ
 以テ保證發行額ガ一時右十億圓ノ限度ヲ超過スルコトアルモ別段之ニ對シ發行
 税ヲ賦課スルノ要ナシト認メラル而シテ過去ノ實績ニ徵スルニ此等決濟資金ニ
 要スル兌換銀行券ノ發行ハ大體十五日以内ニ解消セラレルヲ以テ十五日以内ノ
 期間ニ於ケル制限外發行ニ付テハ抑制ノ手段ヲ採ラズ右期間ヲ超エテ仍其ノ發
 行ヲ繼續セントスル場合ニ付テノミ大藏大臣ノ許可ヲ要スルモノトスルヲ適當
 ナリト認ム

次ニ現行法ニ於テハ制限外發行ニ對シテハ年五分ヲ下ラザル税率ヲ以テ課税ス
 ルコトトナリ居ルモ將來ニ於テ日本銀行割引歩合ヲ低下スルノ必要ヲ生ズルコ
 トアルベク斯ル場合制限外發行税ガ之ニ對シ過度ノ抑制トナラザル様制限外發
 行税率ニ關スル規定ヲ改正スルヲ適當トスベシ然レドモ他面ニ於テ苟モ保證發
 行ト制限外發行トノ差別ヲ設ケ通貨ノ供給ヲシテ過度ニ陥ラシメザル様抑制セ
 ントスル以上制限外發行税率ハ相當ノ程度ヲ維持スルノ必要アリ依テ制限外發
 行税率ハ三分ヲ下ラザル割合ト改メ且大藏大臣ハ時々ノ狀勢ニ應ジテ適宜税率
 ヲ定ムルコトトスルヲ適當ナリト認メタリ

第二 日本銀行納付金制度採用ニ關スル件

一、現行明治三十二年法律第五十六號ニ依ル發行税(制限内發行税)制度及政府當座預金利子上納制度ヲ廢止シ納付金制度ヲ採用スルコト

二、日本銀行納付金制度ノ内容ヲ左ノ如クス

イ、日本銀行ハ事業年度毎ニ純益金ヨリ拂込資本金額ニ對スル年六分ニ相當スル金額及日本銀行條例第十條ニ依リ積立ツベキ金額ノ最少額ニ相當スル金額ヲ控除シタル殘額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スルコト

ロ、純益金ヨリ前記ノ金額及納付金ヲ控除シタル殘額ガ拂込資本金額ニ對シ年四分ノ割合ヲ超過シタルトキハ其ノ超過金額ノ四分ノ三ヲ更ニ政府ニ納付スルコト

三、日本銀行條例第十條ニ依リ積立ツベキ金額ノ最少限度ヲ二十分ノ一ト改ムルコト

(理由)

一、日本銀行ハ我國ノ中央銀行トシテ特別ノ法規ニ依リ設立セラレタル國家的機關ニシテ其ノ資本ノ釀出ハ之ヲ株主ニ求メタリト雖モ單純ナル營利法人ニアラズ而シテ其ノ使命ヲ遂行スル爲兌換銀行券發行ノ特權ヲ賦與セラレ又國庫金ノ取扱等ノ事務ヲ掌リ此等ニ基ク利益寔ニ大ナルモノアリ而シテ一方右兌換銀行券發行ノ特權ニ對スル報償トシテハ制限内發行稅制度アリ又他方國庫金ノ取扱ニ關シテハ政府當座預金利子上納制度アルモ共ニ其ノ制度不備ニシテ同行ノ負擔スルトコロハ其ノ特權及特權的地位ニ基ク利益ト調和ヲ得ザルモノアリ先ヅ發行稅制度ニ就テ之ヲ觀ルニ本制度ハ一定ノ稅率ニ依リ保證發行限度内ノ兌換銀行券發行高ニ對シ課稅スルモノナルガ現在ノ稅率ハ甚ダ低クシテ日本銀行ノ受クル利益ニ比シ權衡ヲ失ヒ且其ノ利益ノ増減ニ順應スルノ伸縮性ヲ缺ケリ、若シ此ノ缺陷ヲ匡正スルガ爲現在ノ發行稅率ヲ引上ゲントセンカ日本銀行ノ割引歩合ヲ高ムルノ素因トナリ金融政策上不利ナルモノアルベシ

次ニ現行政府當座預金利子上納ノ制度ニ依レバ一定ノ金額(昭和七年度ニ於テハ

一般會計四七〇〇〇〇〇圓預金部特別會計一五〇〇〇〇〇〇圓以上ノ政府當座預金額ニ對シ年利率二分ノ利子ヲ政府ニ納付セシメ居レリ、然レドモ政府當座預金ニ因ル日本銀行ノ利益ハ發行稅率、兌換銀行券發行狀態、政府當座預金殘高及割引歩合等ノ如何ニ依リ異ナルモノアリ正確ニ之ヲ算出スルコトハ殆ド不可能ニシテ從テ一定率ノ預金利子歩合ニ依リ之ガ報償ヲ納付セシメントスルモ其ノ衡平ヲ期シ難キハ寧ロ當然ナリト謂ハザルベカラズ惟フニ日本銀行ガ本來國家的機關ナルニ顧ミ且其ノ營業自身ト雖モ國家ヨリ賦與セラレタル特權及其ノ特權的地位ト密接離ルベカラザル關係ヲ有スルニ鑑ミ日本銀行ノ全利益ヲ基準トシ其ノ一定部分ヲ政府ニ上納セシムル納付金制度ハ頗ル衡平ニシテ同行利益ノ増減ニ順應スルノ屈伸性ヲ有シ現行兩制度ニ比シ遙ニ勝レルモノアリト云フベシ

上述ノ理由ニ依リ現行發行稅制度及政府當座預金利子上納ノ二制度ヲ廢止シ納付金制度ヲ採用スルヲ可ナリト認ム

二、日本銀行ノ定例株主割賦金ハ拂込資本金額ニ對シ年六分ニ相當スル金額ニシテ

且日本銀行條例ニ依リ日本銀行ハ一定額ノ積立金ヲ爲スベキ義務アルヲ以テ、右ニ相當スル金額ハ純益金ヨリ優先ニ之ヲ控除シ其ノ殘額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付セシムルコトトシ純益金ヨリ前記ノ株主割賦金、積立金及納付金ヲ控除シタル殘額ニ付テハ拂込資本金額ニ對シ年四分ノ割合ニ相當スル金額ノ控除ヲ認め其ノ處分方法ハ日本銀行ノ自由ニ委スルコトトシ右ヲ超過スル金額ノ四分ノ三ヲ更ニ政府ニ納付セシムルヲ適當ト認めタリ

三、日本銀行ノ積立金ハ現在既ニ資本金額ヲ遙ニ超過シ相當充實セリト認めムルヲ得ルノミナラズ兌換銀行券保證發行限度ヲ十億圓ニ擴張シ且制限内發行稅制度及政府當座預金利子上納制度ヲ廢止スルトキハ日本銀行ノ純益金ハ甚ダシク増大スベク從テ日本銀行條例第十條ニ依ル積立金額モ從前ニ比シ著シク巨額トナルヲ以テ同條ニ依ル積立金ノ最少額ノ割合ハ之ヲ二十分ノ一ト改ムルヲ適當ナリト認めタリ

第三 日本銀行參與會設置ニ關スル件

一、日本銀行ノ重要ナル業務ニ關シ日本銀行總裁ノ諮問ニ應ゼシムル爲日本銀行ニ日本銀行參與會ヲ設置スルコト

(理由)

日本銀行ノ機能ヲ發揚シ我國ノ經濟狀況ニ適應セシメントスルニハ單ニ此ノ制度ニ改正ヲ施スヲ以テ足レリトセズ其ノ運用ヲシテ一層時宜ニ適ハシメ殊ニ日本銀行ト金融界竝一般產業界トノ聯繫ヲ緊密ナラシムルハ此ノ際最モ肝要トスル所ナリ之ガ爲ニハ日本銀行ノ重要ナル業務ニ關シ常ニ各方面ノ有力ナル意見ヲ參酌シ得ルガ如キ制度ヲ創成スルノ要アリ依テ日本銀行參與會ヲ設ケ金融界產業界ノ代表者竝學識經驗アルモノヲ選ビテ日本銀行參與トシ日本銀行總裁ハ重要事項ニ關シ諮問シテ其ノ意見ヲ徵シ又ハ總裁ニ對シ意見ヲ陳述スルヲ得シムルヲ適當ト認メタリ